

訪問美容で笑顔と自信を取り戻すお手伝いを そして、女性美容師の働きがいをも、日本中に広げたい

100歳のおばあちゃんが、障がいを持つ車いすの女性が、おもいっきりオシャレをして町に出かける。病気で外出はできなくても、髪を整えお化粧をして明るい気分で一日を過ごす。そんな素敵な社会を目指して、起業をした女性がいる。「ソーシャルビジネスグランプリ2013夏」において、スタートアップ大賞(財団の起業助成金支給)と共感大賞をW受賞した小池由貴子さんだ。

小池さんが開設した訪問美容(と和)は、病気や障がいなど何らかの理由で美容室に行けない人を訪ねて、美容サービスを提供する。自宅へも、施設や病院へも、来てくれる。カットも、パーマも、メイクも、ネイルケアやマツサージまで、美しくなるための様々なサービスをトータルで提供してくれる。

車いす生活で美容の力を実感

美容学校を出て勤務した都内の美容サロンでは、技術に磨きをかけながら、サ

ロンディレクター、エリアマネージャー、研修講師などにも登用され順調に見えた。しかし、あるとき骨巨細胞腫という病気になる、半年間の車いす生活を余儀なくされる。家にこもって過ごすのが重く、容姿も気にしなくなり、その姿を鏡で見てさらに落ち込んだ。そんなある日、後輩の美容師が訪ねて来て髪を切ってくれた。キレイになった自分を見て、気分が軽く前向きに変わっていくのがわかった。



美容師になろうと思ったきっかけはおばあちゃん。「祖母は病気で髪が薄くなり、若い頃からカツラでした。人に隠れて自分で整えていたようで、『孫の誰かが美容師にならないかな』と言っていました。私が美容師を目指すことを告げたとき、初めてカツラを取って見せた祖母の姿はショックでした。同時に、相手の気持ちわかる美容師にならなくて強く思ったんです」

■訪問美容(と和) お問い合わせは
Webサイト: www.towa2011.com
Mail: koikkeyukiko2011@gmail.com
TEL: 050-3390-0270

美容の力を実感した小池さんは、訪問美容で多くの人を幸せにできるのではと考え起業、2011年に(と和)を立ち上げた。(と和)のお客様はリピート率

80%と高い。キレイになることをあきらめていた人も多いが、最初の訪問で

女性美容師の復職の場にも

「キレイになれるんだ!」と気づき、次は「もっとキレイになりたい」、3回目には自信を取り戻し「どこかに出かけた」と笑顔で話すようになるという。

(と和)のもうひとつの役割は、女性美容師の働きがいを提供すること。美容業界は労働時間が長く土日も営業するため、子育てなどでいったん離職した女性が復職するのは難関だ。しかし訪問美容なら、都合のいい時間だけのスポットの仕事も可能。しかもお客様は経験豊富な女性美容師を希望する方が多い。現在登録美容師は5人だが、地方の美容師からの問い合わせも増えている。

「大賞W受賞はひとつのブランド」と活用しながらも、経営力の強化、プロモーションや研修プログラムなどの環境整備のため、社会起業大学の2年目コースで事業を磨く小池さん。要介護の方との会話や心に寄り添う美容が大切と考え、ヘルパー2級の資格も取得した。将来は要介護者が出かけていきたくなる美容室も含め、日本中に女性の笑顔と働きがいを広げていく予定だ。

シリーズ
社会起業家

訪問美容(と和)代表

小池由貴子氏に聴く